

中期経営計画

〈計画期間〉
2018年4月～
2021年3月

ネ ク ス ト バ リ ュ ー NEXT VALUE

～お客さま・地域との共通価値の創造～

● ごあいさつ

平素より私ども鳥取銀行に対しまして格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。当行では、平成30年4月より、中期経営計画「NEXT VALUE」をスタートいたしました。

金融市場では、欧米の中央銀行が景気回復を背景に政策金利を引き上げる中、日本銀行では、物価目標の達成に向けて金融緩和の継続を示しており、今後も低金利環境は続くものとみられています。

地元経済を見ますと、雇用情勢の改善や生産活動の持ち直しから緩やかな回復基調が続いたものの、小売店販売など個人消費の一部に回復感が乏しく、投資にも足踏みが見られる状況となっています。そのような中、好調なインバウンド需要を背景に、各地で観光DMOの設立による地域間連携を強化する動きがあるほか、大山開山1300年祭などの大きなイベントが開催されることから、観光振興による地域経済の活性化が期待されています。

こうした環境の下、当行は、マイナス金利の継続による利ザヤ縮小や人口減少といった経営課題に対処すべく、従来の延長線上の“やり方”や、前例踏襲の“考え方”を排除し、「営業力強化」と「生産性向上」の両立により『収益力の強化』を図るとともに、『顧客本位』のビジネスモデルを実践することにより、『未来への変革に挑み、お客さま・地域との共通価値を創造する銀行』を目指してまいります。



取締役頭取
平井 耕司

本計画では、目指す姿を実現すべく、2つの基本方針を掲げております。一つめは、「地元への積極的な資金供給による地域経済の活性化」です。地域に果たすべき当行の重要な役割・責任の一つが「資金供給」であることを再び強く認識し、幅広く途切れのない資金供給に努めてまいります。二つめは「本業支援とコンサルティングを通じたお客さま本位の業務運営」です。お客さまとの対話を重視し、企業価値向上や安定的な資産形成に資する提案・サービスを提供することで、お客さまのニーズに積極的にお応えしてまいります。

今後とも皆さまの信頼とご期待にお応えできるよう全役職員が一丸となって努力してまいりますので、一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年7月

■ CONTENTS

ごあいさつ	表紙裏
中期経営計画 NEXT VALUE	P1
特集 とりぎんの“起業創業応援宣言！”	P2
特集 とりぎんの働き方改革支援！	P4
特集 つみたてNISAがスタートしました	P6
特集 「とっとりジビエ」のビジネス化支援	P8
とりぎんの「いま」(平成29年度決算のご報告)	P10
コーポレート・ガバナンスの状況	P13

法令等遵守(コンプライアンス)態勢	P14
リスク管理体制	P15
お客さま保護への取組み	P19
中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況	P23
お客さまの安全のために	P30
とりぎんの概要	P31
鳥取銀行の業績	P37